九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[109] 文學研究表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/25166

出版情報：文學研究. 109, 2012-03-01. Faculty of Humanities, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

彙報

国語学国文学研究室

講義題目

平成二十三年度第一学期

文学部

国語学講義Ⅰ　日本語の音声　高山倫明
国語学演習Ⅰ　古代語の研究―言語史資料としての万葉集―　高山倫明
国語学講義Ⅲ　日本語文法史研究（1）　青木博史
国語学演習Ⅲ　中世語研究（1）　青木博史
国語学講義Ⅵ　日本語の述部形態　慶應大学　屋名池誠
国語学講義Ⅰ　物語文学史概論（1）　辛島正雄
国文学演習Ⅰ　『浜松中納言物語』注釈（1）　辛島正雄
国文学講義Ⅲ　江戸文学と老荘思想　川平敏文
国文学演習Ⅲ　上田秋成『諸道聴耳世間猿』訳注　川平敏文
国文学演習Ⅴ　日本近代文学研究　比較社会文化研究院　松本常彦
国文学講義Ⅵ　日本中古中世説話論　広島大学　竹村信治

人文科学府

日本語史特論Ⅲ　音韻史と字余り論　高山倫明
日本古代語史研究Ⅲ　日本漢字音の研究（1）　高山倫明
博士演習　古辞書・音義の研究　高山倫明
日本語学方法論特論Ⅲ　日本語文法史研究（1）　青木博史
日本近代語史研究Ⅲ　近代語研究の諸問題（1）　青木博史
博士演習　日本語文法論研究　青木博史
日本語学特論Ⅱ　日本語の述部形態　慶應大学　屋名池誠
古代散文論特論Ⅲ　物語文学史研究（1）　辛島正雄
日本古代文学作品研究Ⅲ　日本中古・中世文学研究の方法（1）　辛島正雄
博士演習　日本中古・中世文学の研究　辛島正雄
近世文芸史論特論Ⅲ　近世における老荘受容の諸問題　川平敏文
博士演習　山岡元隣『宝蔵』の発展的研究　川平敏文

日本近世文学作品研究Ⅲ　山岡元隣『宝蔵』訳注　川平敏文
日本近代文学作品研究Ⅲ　日本近代文学研究　比較社会文化研究院　松本常彦
日本文学特論Ⅱ　日本中古中世説話論　広島大学　竹村信治
論文指導　各教員

平成二十三年度第二学期

文学部

国語学講義Ⅱ　日本語音韻史概説　高山倫明
国語学演習Ⅱ　古代語の研究―言語史資料としての万葉集―　高山倫明
国語学講義Ⅳ　日本語文法史研究（2）　青木博史
国語学演習Ⅳ　中世語研究（2）　青木博史
国文学講義Ⅱ　物語文学史概論（2）　辛島正雄
国文学演習Ⅱ　『浜松中納言物語』注釈（2）　辛島正雄
国文学講義Ⅳ　江戸時代の韻文史概論　川平敏文
国文学演習Ⅳ　上田秋成『諸道聴耳世間猿』訳注　川平敏文
国文学演習Ⅵ　日本近代文学研究　比較社会文化研究院　川平敏文

人文科学府

日本語史特論Ⅳ　音訳漢字の研究　高山倫明
日本古代語史研究Ⅳ　日本漢字音の研究（2）　高山倫明
博士演習　古辞書・音義の研究　高山倫明
日本語学方法論特論Ⅳ　日本語文法史研究（2）　青木博史
日本近代語史研究Ⅳ　近代語研究の諸問題（2）　青木博史
博士演習　日本語文法論研究　青木博史
古代散文論　特論Ⅳ　物語文学史研究（2）　辛島正雄
日本古代文学作品研究Ⅳ　日本中古・中世文学研究の方法（2）　辛島正雄
博士演習　日本中古・中世文学の研究　辛島正雄
近世文芸史論特論Ⅳ　江戸韻文史の諸問題　川平敏文
日本近世文学作品研究Ⅳ　山岡元隣『宝蔵』訳注　川平敏文
博士演習　山岡元隣『宝蔵』の発展的研究　川平敏文
日本近代文学作品研究Ⅳ　日本近代文学研究　比較社会文化研究院　松本常彦
論文指導　各教員

学会・研究室行事

○九州大学国語国文学会

（二〇一一年六月五日（日）　於九州大学留学生センター国際ホール）

宇久方言における希望の「ゴチャー」について　九州大学大学院生　門屋飛央

中世室町期における「ねまる」の意味・用法　九州大学大学院研究生　山本佐和子

語り継がれる「濡れ衣」説話
—博多における「濡れ衣」説話・続考—　九州産業大学　森　誠子

三島由紀夫「月澹荘綺譚」論
—見るという行為のもつ意味・暴力性—　九州大学大学院専門研究員　河内重雄

賀茂季鷹と堂上歌壇　相愛大学非常勤講師　盛田帝子

広島藩の文芸と藩儒寺田臨川　広島大学　久保田啓一

近世思想史に関する一つの疑問
—本当に江戸の儒学は朱子学を中心としたものであったのか—　九州大学名誉教授　中野三敏

○平成二十三年度西日本国語国文学会

（二〇一一年九月一一日（土）・一二日（日）　於筑紫女学園大学）

仏教と文学　筑紫女学園大学名誉教授　橘　英哲

「無」を接頭辞とする感情語彙の歴史的研究
—「無慙（慚）」について—　九州大学大学院生　張　愚

九州大学文学部蔵本『ぜぜ（siddhaṃ）十二通切紙』について　九州大学大学院生　蛭沼芽衣

ロシア資料の「テオル」「チョル」「トル」　九州大学大学院生　久保薗愛

『落窪物語』の典薬助をめぐる求婚難題譚考
—『竹取物語』からの受容を中心に—　九州大学大学院生　梁　丹

（関係者のみ）

研究室刊行物

○語文研究　第一一〇号（二〇一〇年一二月発行）

「つれづれ」の季節
—江戸前期文芸思潮論—　川平敏文

散逸した〈しのびね型〉物語
—『風葉和歌集』所収散逸物語における〈しのびね型〉物語の可能性—　宮崎裕子

寛永古活字版『源氏物語』一斑（二）
—鶴見大学図書館蔵本をめぐって—　田村　隆

比況表現と引用形式
―竹取物語の双括引用をめぐって―　森脇茂秀

○語文研究　第一一一号（二〇一一年六月発行）

「むねいたきおもひ」考
―『御津の浜松』最終巻読解のための覚書―　辛島正雄

『古今栄雅抄』の一条兼良説
―『一禅御説』『柿本傭材抄』との関連から―　日高愛子

「天使」という訳語
―その複数の流入経路について―　井料佐紀子

○文献探究　第四九号（二〇一一年三月発行）

散逸物語『すまひ（相撲）』復原考　宮崎裕子

小津久足「松陰日記」について・付翻刻　菱岡憲司

天理大学附属天理図書館蔵
大隈言道『続草径集』翻刻と解題（四）　進藤康子

植木貴恒『さゝぐり』―翻刻と解題―　吉良史明

中国文学研究室

講義題目

＊印は他講座教員との共同オムニバス授業

平成二十三年度前学期

全学教育科目・文学部共通科目

古典の世界「東洋のこころ：論語講読」　静永准教授

中国語（中級）Ⅰ・中国語初歩Ⅰ　（九州産業大学）呉紅華教授

中国語会話Ⅰ・中国語作文Ⅰ　戚教師

文学部

講義　中国の出版文化と中国文学史研究　竹村教授

講義　旧鈔本唐詩集研究Ⅰ　静永准教授

演習　『東周列国志』演習　竹村教授

演習　千載佳句所収唐詩訳注（17）　静永准教授

演習　濱文庫唱本研究　戚教師

演習　中国文学研究法　戚教師・静永准教授

演習　中国語文法研究　（言語文化研究院）西山准教授

集中講義　上古中国の言語と文字に関する諸問題　（東京大学）大西克也准教授

人文科学府

講義　中国の出版文化と中国文学史研究　竹村教授
講義　唐代文学研究の諸問題　静永准教授
演習　王昭君文学史研究　竹村教授
演習　白楽天新楽府訳注（1）　静永准教授
演習　中国文学研究法　戚教師・静永准教授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　竹村教授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　静永准教授

平成二十三年度後学期

全学教育科目・文学部共通科目

講義　文学基礎　竹村教授*・静永准教授*
講義　人文学Ⅰ「東アジア世界の交流と変容」　竹村教授*
講義　人文学Ⅱ「生と死の探求」　静永准教授*
中国語（中級）Ⅱ・中国語初歩Ⅱ　（九州産業大学）呉紅華教授
中国語会話Ⅱ・中国語作文Ⅱ　戚教師

文学部

講義　中国の出版文化と中国文学史研究　竹村教授
講義　旧鈔本唐詩集研究Ⅱ　静永准教授
演習　『東周列国志』演習　竹村教授
演習　千載佳句所収唐詩訳注（18）　静永准教授
演習　濱文庫唱本研究　戚教師
演習　中国文学研究法　戚教師・静永准教授
演習　中国語文法研究　（言語文化研究院）西山准教授
集中講義　中国文化論「東アジアの海域交流」　（東京大学）小島毅准教授

人文科学府

講義　中国の出版文化と中国文学史研究　竹村教授
講義　唐代文学研究の諸問題　静永准教授
演習　王昭君文学史研究　竹村教授
演習　白楽天新楽府訳注（2）　静永准教授
演習　中国文学研究法　戚教師・静永准教授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　竹村教授
論文指導　中国語学中国文学の諸問題　静永准教授

学会・研究室行事

○中国文藝座談会

第二五一回（二〇一一年二月五日）於四階会議室

曲水の宴と詩歌　新谷香織
林黛玉論　古賀文也
日本雑事詩に見える黄遵憲と日本　西村紗理
中国から見た「桜」―中国人留学生たちの詩を辿る―　本田悠
広州嶺南大学における日中文学交流
―劉思慕と草野心平を中心に―　裴亮

元雑劇中的程式化用語「看有甚么人来」　戚　世　雋
第二五二回（二〇一一年三月五日）於四階会議室
狐と悪女―『封神演義』の妲己を中心に―　神　代　さおり
北京の宮殿群と文学　今　村　彩　乃
近代女性作家梅娘と日本
『魚』に現れる梅娘の女性観　深　町　麻　未
寒山双重像形成縁起考　松　岡　千絵莉
明・胡応麟における『搜神記』輯佚過程　鄭　文　全
第二五三回（二〇一一年四月二十三日）於四階会議室
辞賦から見る三国志　雁　木　誠
則天武后と唐都長安　栗　山　雅　央
江戸時代における明楽受容の諸問題　種　村　由季子
第二五四回（二〇一一年七月三十日）於四階会議室
元稹「連昌宮詞」の新意　中　尾　友香梨
明・呉嘉謨『孔聖家語図』と明代出版業の発展隆盛　長谷川　真　史
欧陽脩の書簡九十六篇の新発見について　楊　文　歓
九大漢籍蒐集史―狩野亨吉からの図書購入―　東　英　寿
第二五五回（二〇一一年九月十七日）於四階会議室
駱賓王「帝京篇」の創作意図について　大　渕　貴　之・山　根　泰　志
二十巻本『搜神記』と胡応麟　種　村　由季子
日本伝存「長恨歌序」の再検討　雁　木　誠
寒山詩と江戸文人たち　陳　翀
第二五六回（二〇一一年十一月十二日）於四階会議室
蕉園諸子と西泠文士　鄭　文　全
詩人の旅―杜甫の入蜀と陸游の入蜀―　李　恬　甲　斐　雄　一

○第五十九回九州中国学会大会発表
（二〇一一年五月十四日―十五日、於鹿児島大学）
元雑劇における定型句「看有甚麼人来」について　戚　世　雋
寒山伝説の変遷　鄭　文　全
千載佳句所収唐詩句の来源について　静　永　健

○第六十三回日本中国学会大会発表
（二〇一一年十月八日―九日、於九州大学旧工学部本館）
則天武后の洛陽駐輦と駱賓王「帝京篇」　種　村　由季子
旧鈔本「長恨歌序」の真偽　陳　翀
胡応麟の『搜神記』編集について　雁　木　誠

○公開講座等出講
＊九大文学部・朝日カルチャーセンター提携講座
「旅の人文学」（二〇一一年四月十六日）
漢詩における旅　静　永　健
「今、生命（いのち）を考える」（二〇一一年十二月十七日）

孔子学校二五〇〇年史の生命（いのち）の根源を考える　竹村則行

研究室刊行物

○『中国文学論集』第四〇号（二〇一一年十二月二十五日発行）

草創期の中国文藝座談会・『中国文学論集』　岡村繁
「三都賦」劉逵注の注釈態度　栗山雅央
『初学記』による『藝文類聚』補綴について　大渕貴之
杜甫乱後初遇鄭虔心理擬構――杜甫《鄭駙馬池台喜遇鄭広文同飲》考論――　査屏球
唐代「劇本」検討　戚世雋
周必大原刻本『欧陽文忠公集』百五十三巻について　東英寿
陸游の入蜀とその同時代評価について――宋代杜甫詩評を手がかりとして――　甲斐雄一
明・呉嘉謨『孔聖家語図』と明代の出版　楊文歓
寒山詩と江戸文人たち　鄭文全
単士釐とロシア――一九〇四年の『癸卯旅行記』を中心に――　蕭燕婉
清末翻訳小説に見る訳者の啓蒙意識――『レ・ミゼラブル』の漢訳「逸犯」をめぐって――　梁艶
九州大学所蔵狩野亨吉関係図書について　大渕貴之・山根泰志
入門期の中国語教育における発音習得の三つの要点――声調・韻母・声母について――　野田雄史
中国現代文学における古典復讐譚の改編について――『鋳剣』『棠棣之花』『筑』『伍子胥』を中心として――　呉紅華
敦煌変文における近称指示詞の諸相　西山猛

受賞

○二〇一一年度日本中国学会賞受賞［文学・語学部門］（二〇一一年十月八日）
『藝文類聚』編纂考　大渕貴之

英語英文学研究室

講義題目（平成二十三年度前学期）

英語学

論文指導　西岡教授
英語学講義Ⅰ　否定現象と文法理論　西岡教授
英語学演習Ⅹ　機能的構文分析Ⅱ　西岡教授
英語学特論Ⅲ　統語理論研究Ⅱ　西岡教授
英語学研究Ⅲ　統語論の諸問題Ⅰ　西岡教授
博士演習　統語論の諸問題Ⅰ　西岡教授

英語学演習Ⅶ　The sounds of English　レイカー教師
英語学演習Ⅷ　English Words　レイカー教師
英語学特殊研究Ⅲ　Linguistic Typology　レイカー教師
英語学講義Ⅳ　Issues on Language, Communication, and Human Cognition（秋田大学教育文化学部）星宏人教授
英語学特論Ⅵ　Issues on Language, Communication, and Human Cognition（秋田大学教育文化学部）星宏人教授

イギリス文学

論文指導　村井教授
イギリス文学講義Ⅰ　シェイクスピア研究入門　村井教授
イギリス文学演習Ⅰ　*Antony and Cleopatra*研究　村井教授
イギリス文学特論Ⅴ　シェイクスピア作品研究　村井教授
イギリス文学研究Ⅴ　*Coriolanus*研究　村井教授
博士演習　*Coriolanus*研究　村井教授
論文指導　鵜飼准教授
イギリス文学演習Ⅶ　Charles Dickens 研究　鵜飼准教授
イギリス文学演習Ⅷ　Oscar Wilde 研究　鵜飼准教授
イギリス文学特論Ⅶ　Lewis Carroll 研究　鵜飼准教授
イギリス文学研究Ⅰ　Conrad, Woolf 研究　鵜飼准教授
博士演習　Conrad, Woolf 研究　鵜飼准教授
イギリス文学講義Ⅵ　「虚構」（フィクション）としての世界　周航記：『ガリヴァー旅行記』研究（大阪大学大学院文学研究科）服部典之教授
イギリス文学特論Ⅹ　「虚構」（フィクション）としての世界　周航記：『ガリヴァー旅行記』研究（大阪大学大学院文学研究科）服部典之教授

アメリカ文学

論文指導　高野准教授
アメリカ文学講義Ⅳ　アメリカ文学史（世紀末から第二次世界大戦まで）　高野准教授
アメリカ文学演習Ⅱ　冷戦期のアメリカ文学　高野准教授
アメリカ文学特論Ⅰ　Richard Chase, *The American Novel and Its Tradition*　高野准教授
アメリカ文学研究Ⅰ　*Henry James*の*The Wings of the Dove*を読む　高野准教授
博士演習　*Henry James*の*The Wings of the Dove*を読む　高野准教授
アメリカ文学演習Ⅴ　Patricia Highsmith's *Strangers on a Train*　ローウェンスタイン教師

アメリカ文化研究Ⅲ　"Loneliness in a Small Ohio Town": Sherwood Anderson's *Winesburg, Ohio*　ローウェンスタイン教師

アメリカ文学講義Ⅵ　『グレート・ギャツビー』を読む　（東京大学文学部）諏訪部浩一准教授

アメリカ文学特論Ⅵ　『グレート・ギャツビー』を読む　（東京大学文学部）諏訪部浩一准教授

英作文Ⅰ　Essay writing　レイカー教師

英会話Ⅰ　English Listening and Speaking　レイカー教師

英会話Ⅰ　English Conversation Ⅰ　ローウェンスタイン教師

講義題目（平成二十三年度後学期）

英語学

論文指導　西岡教授

英語学演習Ⅰ　英文法における「繰り返し現象」　西岡教授

英語学演習Ⅺ　数量詞のスコープと否定現象　西岡教授

英語学特論Ⅳ　ミニマリスト統語論の基礎　西岡教授

英語学研究Ⅳ　統語論の諸問題Ⅱ　西岡教授

博士演習　統論の諸問題Ⅱ　西岡教授

英語学演習Ⅸ　Practical English Phonetics and Phonology　レイカー教師

英語学特殊研究Ⅳ　Investigating Variation in English Using Corpora　レイカー教師

イギリス文学

論文指導　鵜飼准教授

イギリス文学講義Ⅲ　Emily Brontë論　鵜飼准教授

イギリス文学演習Ⅸ　Mary Shelley研究　鵜飼准教授

イギリス文学特論Ⅷ　George MacDonald研究　鵜飼准教授

イギリス文学研究Ⅱ　Virginia Woolf研究　鵜飼准教授

博士演習　Virginia Woolf研究　鵜飼准教授

アメリカ文学

論文指導　高野准教授

アメリカ文学演習Ⅲ　F. Scott Fitzgeraldの*Tender Is the Night*を読む　高野准教授

アメリカ文学演習Ⅺ　William Faulknerの短編を読む　高野准教授

アメリカ文学特論Ⅱ　Leslie Fiedler, *Love and Death in the American Novel*　高野准教授

アメリカ文学研究Ⅱ　Henry JamesのThe Wings of the Doveを読む　高野准教授

博士演習　Henry JamesのThe Wings of the Doveを読む　高野准教授

アメリカ文学演習Ⅵ　Carson McCullers: Novellas and short stories　ローウェンスタイン教師

アメリカ文学演習Ⅸ　American Flash Fiction: an everevolving "new-old" form　ローウェンスタイン教師

アメリカ文化研究Ⅳ　Paul Auster's New York Trilogy and the American Metaphysical Detective Novel　ローウェンスタイン教師

英米研究　All about Britain　レイカー教師

英作文Ⅱ　Writing Short English Essays　ローウェンスタイン教師

英会話Ⅱ　English Conversation Ⅱ　ローウェンスタイン教師

英会話Ⅱ　Conversation for English Majors　レイカー教師

学会・研究室行事

日本英文学会九州支部第六四回大会研究発表

（２０１１年10月　於　大分大学）

脅かす子ども―『フランケンシュタイン』における擬似的親子と植民地主義―　浅田えり佳

成り代わる視点―Dangling Manにおける他者観―　幸山智子

被爆者と「母国」アメリカ　永川とも子

分解する物語―The Bluest Eyeにおける暴力の連鎖―　吉田希依

英語の二重目的語構文に関する統語的考察　大塚知昇

QR in Phase Theory　下仮屋翔

空所化構文と多重間接疑問縮約の統語構造について　高木留美

文断片における再帰形の直接生成分析　永次健人

日英語の場所句構文に関する統語分析　前田雅子

副詞の派生に関する統語的分析　安松修平

日本イギリス児童文学会四一回研究大会

（２０１１年11月　於　中京大学）

George MacDonaldのThe Princess and the Goblinにおける逸脱する理性　田中優子

日本ソール・ベロー協会第23回大会

（２０１１年10月　於　高槻生涯学習センター）

間に合ううちに部屋を出ろ―『宙ぶらりんの男』における自己の他者化　幸山智子

日本アメリカ文学会第50回大会
（２０１１年10月　於　関西大学）
*The House of the Seven Gables*にみられる空気の停滞と流動のモチーフ　田島優子

第44回日本ナサニエル・ホーソーン協会九州支部研究会
（２０１１年９月　於　福岡大学）
『七破風の家』における病　田島優子

日本アメリカ文学会関西支部11月例会
（２０１１年11月　於　相愛大学）
*The Portrait of a Lady*におけるイザベル・アーチャーの身体感覚と抑圧について　斎藤彩世

The English Linguistic Society of Japan 4th International Spring Forum
（２０１１年４月　於　静岡大学）
The Fine Structure of the vP Periphery and Heavy NP Shift / Locative Inversion　前田雅子

「談話のカートグラフィー」をめぐる言語理論と言語現象のワークショップ
（２０１１年５月　於　北九州市立大学）
Predicate Inversion and Topicality in Locative Inversion　前田雅子

福岡言語学会研究会(Fukuoka Linguistic Circle: FLC)
（２０１１年７月　於　九州大学）
日本語における付加詞のカートグラフィー分析と一致現象　前田雅子

日本言語学会第一四三回大会
（２０１１年11月　於　大阪大学）
日本語における非顕在的wh/focus移動とRelativized Minimality　前田雅子

『九大英文学』53号（２０１１年３月）
Abrahamと息子たちの功利―*Dracula*における堕落した女と家父長の継承―　浅田えり佳
Dublinersの女性―抑圧と解放―　田中恵理
The Passage to Acquisition in *The Ambassadors*　斎藤彩世
Humanity against the A-Bomb: An Analysis of the Countervailing Power of the Six Protagonistsin John Hersey's *Hiroshima*　永川とも子

Rethinking the Structure of Clausal Gerunds　下仮屋　翔

A Syntactic Analysis of Gapping in English　高木留美

日本語のsluicing文に関する統語分析　前田雅子・松本知子

複合名詞句における統語的派生について　真保栄　俊

『Tinker Bell』№56（２０１１年３月）

残存する恐怖―「影の檻」と「ミス・マウンテン」―　原田洋海

『九州アメリカ文学』第52号（２０１１年11月）

Independence from Maternal Figures: An Initiation Rite on the Scaffold in *The Scarlet Letter*　田島優子

***JELS* 28（２０１１年３月）**

The Fine Structure of the vP Periphery and Heavy NP Shift / Locative Inversion　前田雅子

***English Linguistics* 27(2)（２０１０年12月）**

The Criterial Freezing Effect and Split A'-Movement　前田雅子

２０１０年度English Linguistics 研究奨励賞受賞

２０１１年度日本英語学会新人賞受賞

独文学研究室

講義題目

平成二三年度第一学期

文学部・独語学

講義　ドイツ語基礎演習　小黒教授

作文　Aufsatz　モンホフ教師

会話　DEUTSCH 1　モンホフ教師

演習　DEUTSCH 2　モンホフ教師

臨講　中高ドイツ語の世界　（東北大学）嶋崎啓准教授

文学部・独文学

講義　沈黙の詩学　小黒教授

演習　ヘルタ・ミュラー研究Ⅱ　小黒教授

臨講　〈プラハのドイツ語文学〉研究　（大阪大学）三谷研爾教授

人文科学府

演習　Hauptseminar　モンホフ教　師
演習　ルードルフ・カスナー研究Ⅴ　小　黒　教　授
特研　Kolloquium　小　黒　教　授

平成二三年度第二学期

文学部・独語学

会話　DEUTSCH 1　モンホフ教　師
演習　DEUTSCH 2　モンホフ教　師
臨講　現代ドイツ語の諸問題　（大分大学）池内宣夫教授

文学部・独文学

講義　ディレッタンティズム　小　黒　教　授
演習　Proseminar　モンホフ教　師
演習　ヘルタ・ミュラー研究Ⅲ　小　黒　教　授
臨講　ワーグナーとドイツ近代　《ヴァルキューレ》を読む・聴く・観る　（東京工業大学）山崎太郎教授

人文科学府

演習　Hauptseminar　モンホフ教　師
演習　ルードルフ・カスナー　研究Ⅵ　小　黒　教　授
特研　Kolloquium　小　黒　教　授

学会・研究室行事

○「九州ドイツ文学」第24号（平成二二年十一月発行）

・クニッゲ『人間交際術』における啓蒙主義批判と実用志向
—R.Z. ベッカーの民衆啓蒙運動と比較して—　田　口　武　史
・ゲーテ『ファウスト』における「最高の美」——『色彩論』が照らし出す「曇り」としてのヘレナ——　平　松　智　久
・歌声を失った「水の女」たち　アンデルセン、リルケ、カフカ、ブレヒト」　小　黒　康　正
・〔書評〕恒吉良隆著『ニーチェの妹エリーザベト——その実像』（同学社、二〇〇九年）　杉　谷　恭　一

○日本独文学会西日本支部第62回研究発表会

（平成二二年一二月四—五日　於ホテルニュータンダ［長崎市常盤町］）
・ゲーテ『ヴィルヘルム・マイスターの遍歴時代』における『新メルジーネ』について　木　田　綾　子

○博士論文公聴会

（平成二三年二月一八日　於九州大学文学部）

・R.Z. ベッカーの民衆啓蒙運動—思想的展開と文学史的意義—　（松山大学准教授）田　口　武　史

○「ドイツ文学」第142号（平成二三年三月発行）

・水底から浮かぶ否定性――「水の女」という名の流動性――　小黒康正

・現実の不在から生まれる詩的言語　トーマス・マンの『幻滅』について――ニーチェの言語観との関連から　坂本彩希絵

・「無意味」の意味――ゲーテ『ファウスト』「魔女の厨」における「魔女の九九」の叙述形式――　平松智久

○九州大学独文学会第25回研究発表会

（平成二三年四月三〇日　於九州大学文学部）

・ゲーテ『ローマの謝肉祭』にみる生のメタモルフォーゼ――1789年のゲーテの変容――　平松智久

・Nietzsche-Archivのエリーザベトを訪問した日本人学者たち　恒吉良隆

・エッセイストとしてのトーマス・マン　日髙雅彦

・崩壊と昇華のメタファー――トーマス・マン『鉄道事故』における聴覚的事象――　坂本彩希絵

人事異動（追加分を含む）

・浅井健二郎、教授を退任（平成二一年三月三一日）

・エルマル・レーンハルト、招へい外国人教師を退任（平成二二年三月三一日）

・小黒康正、教授に昇進（平成二二年四月一日）

・バルバラ・クレーマ、招へい外国人教師に着任（平成二二年四月一日）

・バルバラ・クレーマ、招へい外国人教師を退任（平成二三年二月二八日）

・ザシャ・モンホフ、招へい外国人教師に着任（平成二三年四月一日）

・坂本彩希絵、助教に着任（平成二三年四月一日）

・平松智久、専門研究員に着任（平成二三年四月一日）

仏文学研究室

講義題目

平成二十三年度前学期

仏語学

演習　フランス語会話　ランベール教師

講義　フランス語の文章作法（3）　ランベール教師

仏文学

演習　20世紀の小説　吉井教授
演習　20世紀の文学批評　〃
特論　NRF研究　〃
研究　テクスト分析の諸問題　〃
演習　博士演習　〃
演習　バルザック『ファチーノ・カーネ』　髙木准教授
講義　フランス・ロマン主義文学研究　〃
特論　小説分析の方法論　〃
研究　生成論研究　〃
演習　博士演習　〃
講義　フランスの歴史と文化　ランベール教師
特論　現代フランス文学研究　〃
研究　Dissertation littéraire　〃
演習　フローベール『聖ジュリアン伝』（言語文化研究院）　森茂太郎教授
研究　フランス自然主義小説研究　〃
臨講　ジョルジュ・バタイユ『空の青み』を読む（青山学院大学）　濱野耕一郎准教授

平成二十三年度後学期

仏語学

演習　現代のフランス語　髙木准教授
演習　フランス語学（言語文化研究院）　佐藤典子准教授

仏文学

演習　20世紀の小説　吉井教授
演習　20世紀の文学批評　〃
特論　NRF研究　〃
研究　テクスト分析の諸問題　〃
演習　博士演習　〃
演習　バルザック『ベール氏論』　髙木准教授
講義　写実主義・自然主義文学研究　〃
特論　小説分析の方法論　〃
研究　生成論研究　〃
演習　博士演習　〃
演習　メリメ『コロンバ』（言語文化研究院）　森茂太郎教授
研究　フランス自然主義小説研究（言語文化研究院）　〃
研究　コクトー研究（言語文化研究院）　佐藤典子准教授

臨講　フランス・ルネサンス研究
（大阪大学）　岩　根　久　教　授

学会・研究室行事

仏文学関係

○「ステラ」第29号（平成二十二年十二月発行）

アンドレ・ジッドとチボーデ　吉　井　亮　雄

アンドレ・ジッドと『タン・フュチュール』誌　吉　井　亮　雄

バルト＝カミュ論争再考
——『ペスト』における歴史記述の問題をめぐって　千々岩　靖　子

〈スタンダール＝クラブ〉余話
——ポール・レオトーのアドルフ・ポープ宛未刊書簡　髙　木　信　宏

フランス語の受動的代名動詞と中間構文　井　口　容　子

百間漫歩——逢魔が時の文学（その2）　森　茂太郎

イヴ・シトン『読解・解釈・現在化』（書評）　飯　田　伸　二

ロベール＝ショヴァン編『セリーヌになる』（書評）　木　下　樹　親

アンドレ・アブー『行間のアルベール・カミュ』（書評）　安　藤　智　子

Du texte à l'image : Marcel Proust et *À la recherche du temps perdu* à l'écran　Pierre-Edmond ROBERT

La poésie et la genèse d'*À la recherche du temps perdu* : l'évolution de la critique proustienne de Lecote de Lisle　Yasue KATO

Retour de l'U.R.S.S. de Gide : revenir de l'utopisme à l'utopie du poème　Olivier KACHLER

Le 6 février 1934 et les écrivains (II) : André Chamson　Koichiro HAMANO

De l'oubli à la nostalgie : le tournant dans les écrits de jeunesse chez Camus　Tomoko ANDO

Une étoile filante (en marge de la *Correspondance Paulhan-Petitjean*)　Pascal MERCIER

Claude Lévi-Strauss et la littérature japonaise　Hervé-Pierre LAMBERT

人事異動

エルベ＝ピエール・ランベール　九月三〇日、招聘外国人教師の任期を満了し、退任。

言語学研究室

講義題目

文学部

平成二十三年度前期

概論　言語学概論　坂本　勉
講義　統語論・意味論インターフェイス　稲田俊明
講義　心理言語学入門―言葉・心・脳　坂本　勉
演習　音声学の基礎　久保智之
演習　論文の読み方・書き方　上山あゆみ
実習　卒業論文指導　各教員
講義（集中）韓国語の複雑述語の諸問題　（山口大学）和田　学
講義（集中）言語について「実験」によってわかること・わからないこと　（広島大学）酒井　弘

平成二十三年度後期

演習　言語理論と言語獲得研究　稲田俊明
演習　文理解研究　坂本　勉
講義　音声学実習　久保智之
講義　日本語の基本構造　上山あゆみ
実習　卒業論文指導　各教員

人文科学府

平成二十三年度前期

特論　文法理論特論Ⅰ　稲田俊明
研究　文法理論の諸問題　稲田俊明
特論　言語実験の理論と応用Ⅰ　坂本　勉
研究　ソシュール研究の諸問題Ⅰ　坂本　勉
特論　満洲語講読（康熙朝奏摺）　久保智之
研究　複合語研究　久保智之
特論　生成文法と意味論　上山あゆみ
研究　統語理論演習　上山あゆみ
言語学研究法　全教員
論文指導　各教員
講義（集中）韓国語の複雑述語の諸問題　（山口大学）和田　学
講義（集中）言語について「実験」によってわかること・わからないこと　（広島大学）酒井　弘

平成二十三年度後期

特論　文法理論特論Ⅱ　稲田俊明
研究　文法理論の諸問題　稲田俊明

特論　言語実験の理論と応用Ⅱ　坂本　勉
研究　ソシュール研究の諸問題Ⅱ　坂本　勉
特論　満洲語講読（康熙朝奏摺）　久保智之
研究　エレメント理論　久保智之
特論　言語理論と観察の一般化　上山あゆみ
研究　統語理論演習　上山あゆみ
言語学研究法　全教員
論文指導　各教員
特論（集中）　現代中国語文法論　（東京大学）木村英樹

学会・研究室行事

九州大学言語学研究会

第七十六回

（二〇一一年七月二一日　於九州大学文学部会議室）

“Complex sentences within biolinguistics”

(Zentrum für Allgemeine Sprachwissenschaft)　Uli Sauerland

第七十七回

（二〇一一年九月三〇日　於九州大学文学部会議室）

「語順交替の認知神経科学—実時間の心的計算と言語理論の関係を探る」

（広島大学）酒井　弘

第七十八回

（二〇一一年一一月一八日　於九州大学文学部会議室）

“Experience of timing in special population”

Mark Elliot (National University of Ireland)

第七十九回

（二〇一一年一二月三日　於九州大学文学部会議室）

「満洲語資料としての『滿文原檔』（旧満洲檔と内国史院檔の違いについて」

早田輝洋